

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部	学 期	後期	教室名	802
担 当 教 員	三田 直人				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。 資格:音楽健康指導士 準2級、地域音楽コーディネーター、認知症ケア指導管理士。				
《授業科目における学習内容》					
各種の病理学的な病態について、どの組織がどのように変質・変化し、人体へ影響を及ぼしているかを理解し、個々の言葉で説明できるようにしてください。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験 : 90% 小テスト : 10%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
病理学(標準理学療法学・作業療法学 梶原博毅監修)					
《授業外における学習方法》					
各講義で解剖学・生理学の復習が必要です。基礎知識が乏しい場合、内容の理解が難しくなることが予想されます。身体構造がイメージできるように予習をお願いします。					
《履修に当たっての留意点》					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	病因の種類を理解することが出来る	教科書 配布プリント		
	各コマにおける授業予定	疾患・疾病には内的外的な要因が存在します。その種類を知ること で疾患理解のに繋げていきます。			
第2回	授業を通じての到達目標	退行性病変。進行性病変	教科書 配布プリント		
	各コマにおける授業予定	細胞組織の変化に伴う症状の出現の仕方の違いについて学びます。 また各種病変の違いの意味を学びます。			
第3回	授業を通じての到達目標	免疫の働き	教科書 配布プリント		
	各コマにおける授業予定	自然免疫・獲得免疫の違い、免疫機構の仕組みで生体に反応する のかを学びます。			
第4回	授業を通じての到達目標	炎症・感染症	教科書 配布プリント		
	各コマにおける授業予定	生体防御機能である、炎症反応及びその出現形式について学びます。 また感染の種類・経路について学びます。			
第5回	授業を通じての到達目標	腫瘍	教科書 配布プリント		
	各コマにおける授業予定	悪性腫瘍・良衛腫瘍の違い、腫瘍の発生機序・名称の違いを学び ます。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	全身循環障害(高血圧など)・局所循環障害(血行障害)などの循環障害を理解し、各項目について列挙・説明できる	教科書 配布プリント	
	各コマにおける授業予定	各論 1:循環器		
第7回	授業を通じての到達目標	呼吸器の構造、障害の種類と病態・病因を理解し、各項目について列挙・説明できる	教科書 配布プリント	
	各コマにおける授業予定	各論 2:呼吸器		
第8回	授業を通じての到達目標	消化器・栄養・代謝障害(糖代謝異常・アミノ酸代謝異常・脂質代謝異常)について理解し、各項目について列挙・説明できる	教科書 配布プリント	
	各コマにおける授業予定	総論 4:代謝障害 各論 3:消化器		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			